

でん粉の需給見通しについて

平成26年2月

農林水産省

目 次

	ページ
でん粉の需給見通し	1
○ でん粉需給の推移	2
○ 25でん粉年度における国内産いもでん粉需給の見通し	3
 (参考)	
1 いもの生産状況	7
(1) ばれいしょ	
(2) かんしょ	
2 コーンスターチ用とうもろこしの国別輸入量の推移	9
3 とうもろこしのシカゴ相場の推移	10
4 外国産でん粉の輸入量等の推移	11
5 化工でん粉の輸入量等の推移	12
6 糖化製品の用途別販売数量	13
(1) 異性化糖	
(2) ぶどう糖	
(3) 水あめ	
7 国内産いもでん粉の用途別販売数量の推移	16
8 でん粉価格調整制度における調整金収支の状況	17

でん粉の需給見通し

(単位:千トン)

		23でん粉年度(実績)			24でん粉年度(実績)			25でん粉年度(見込み)			26でん粉年度 (見通し)	
		10-3月	4-9月		10-3月	4-9月		10-3月	4-9月			
需 要	糖化製品	840	956	1,796	839	964	1,803	826	972	1,798	1,798	
	化工でん粉	156	163	319	149	147	296	152	161	313	313	
	その他(製紙用、ビール用、片栗粉など)	286	282	569	246	278	525	263	289	552	552	
	合計			2,683			2,623			2,662	2,662	
供 給	前年度繰越			▲5			1			23	29	
	国産いもでん粉(生産量)	218	—	218	227	—	227	225	—	225	300	
	かんしょでん粉	45	—	45	38	—	38	41	—	41	60	
	ばれいしょでん粉	174	—	174	189	—	189	184	—	184	240	
	調整金 徴収 対象	コーンスターチ	1,090	1,217	2,307	1,059	1,199	2,258	1,049	1,219	2,268	2,177
	輸入でん粉 (糖化製品、化工でん粉用)	63	70	133	67	66	132	66	74	140	149	
	輸入でん粉(その他用)	6	7	12	4	5	10	9	9	18	18	
	小麦でん粉	9	9	19	9	9	18	9	9	18	18	
	合計			2,689			2,646			2,692	2,692	
	次年度繰越			1			23			29	29	
〔うち国産かんしょでん粉〕			〔 2 〕			〔 4 〕			〔 7 〕	〔 7 〕		
〔うち国産ばれいしょでん粉〕			〔 ▲1 〕			〔 19 〕			〔 22 〕	〔 22 〕		

(注) 1. ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
 2. でん粉年度とは、10月から翌年9月まで。

○ でん粉需給の推移

需 要

(単位:千トン)

でん粉 年 度	糖化製品 (異性化糖・ 水あめ等)	化 工 でん粉	その他	その他				需要量計
				繊維・製紙 段ボール	ビール	水 産 練製品	その他 (注)	
15	1,909	421	683	240	139	28	276	3,013
16	1,922	426	642	226	129	24	263	2,990
17	1,947	421	639	229	127	21	262	3,008
18	1,949	419	610	220	123	20	247	2,978
19	1,840	397	611	212	117	25	257	2,848
20	1,828	338	593	175	106	25	287	2,759
21	1,712	348	588	195	98	25	270	2,648
22	1,857	329	618	204	92	25	297	2,804
23	1,796	319	569	172	98	16	283	2,683
24	1,803	296	525	161	100	16	248	2,623
25 (見込み)	1,798	313	552	171	100	16	265	2,662
26 (見通し)	1,798	313	552	171	100	16	265	2,662

(注) その他の欄のその他は、片栗粉、菓子、麺類、調味料、建材、医薬、飼料などの需要量の計である。
ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

供 給

(単位:千トン)

でん粉 年 度	かんしょ でん粉	ばれい しょ でん粉	コーン スターチ	輸 入 でん粉	小 麦 でん粉	供給量計
15	62	233	2,527	166	25	3,013
16	55	240	2,531	141	23	2,990
17	53	233	2,561	141	21	3,008
18	58	240	2,517	144	20	2,979
19	43	235	2,416	133	21	2,848
20	42	235	2,324	139	20	2,759
21	47	203	2,248	131	20	2,648
22	51	179	2,412	142	20	2,804
23	45	168	2,307	145	19	2,683
24	36	169	2,258	142	18	2,623
25 (見込み)	38	180	2,268	158	18	2,662
26 (見通し)	60	240	2,177	167	18	2,662

(注) 供給数量は、供給量計が需要量計と一致するよう、前年度繰越分を加え、次年度繰越分を減じている。
ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

○ 25でん粉年度における国内産いもでん粉需給の見通し

(単位:千トン)

			25年10月～26年3月(見込み)			26年4月～9月(見通し)			25でん粉年度計		
			かんしょでん粉	ばれいしょでん粉	上期計	かんしょでん粉	ばれいしょでん粉	下期計	かんしょでん粉	ばれいしょでん粉	計
需 要	交付金 対 象 用 途	糖化製品	14	17	31	15	17	32	29	35	63
		化工でん粉	2	16	18	1	15	16	3	31	34
		その他	1	21	22	6	20	26	7	41	48
		小計	17	54	71	21	52	73	38	106	144
	その他の用途	0	37	37	0	37	37	0	74	74	
	計	17	91	108	21	90	111	38	180	219	
供 給	前期からの繰越	4	19	23	28	112	140	4	19	23	
	生産量	41	184	225	0	0	0	41	184	225	
	計	45	203	248	28	112	140	45	203	248	
次期への繰越			28	112	140	7	22	29	7	22	29

(注) 1. ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

2. 交付金対象用途のその他は、ばれいしょでん粉については、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、調味料、板紙(層間接着用)、水産養殖餌料など、かんしょでん粉については、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、建材などである。
交付金対象用途外のその他の用途は、片栗粉などである。

○ 26でん粉年度における国内産いもでん粉需給の見通し

(単位:千トン)

			かんしょでん粉	ばれいしょでん粉	計
需 要	交付金 対 象 用 途	糖化製品	60	135	195
		化工でん粉			
		その他			
	その他の用途		0	105	105
	計		60	240	300
供 給	前期からの繰越		7	22	29
	生産量		60	240	300
	計		67	262	329
次期への繰越			7	22	29

1 でん粉の需要量の見通し

(1) 糖化用

- ① 24でん粉年度
発泡酒向け水あめの需要が低下した一方、清涼飲料を中心とした異性化糖の需要については、記録的な猛暑により、過去最高の出荷量となったこと等により、前年度比7千トンの増の1,803千トンとなった。
- ② 25でん粉年度
異性化糖需要の約7割を占める清涼飲料等において、商品の販売計画を4月以降とする動きがあるものの、需要期である夏場の清涼飲料向けの需要が特異な天候にならない限り、ほぼ平年並みの1,798千トンと見込んだ。
- ③ 26でん粉年度
26でん粉年度についても、昨今の需要動向が反映されるものと考え、25でん粉年度と同じ1,798千トンと見通した。

(2) 化工でん粉用

- ① 24でん粉年度
製紙向けの需要のうち、コーンスターチから製造する化工でん粉で供給されているものについては、安価なタピオカでん粉誘導体に置き換わったこと等から、前年度比23千トンの減の296千トンとなった。
- ② 25でん粉年度
昨今の景気回復の兆しや円安傾向による輸入紙の減少などで国内製紙需要が上向く中、割安感が出てきたコーンスターチを原料とする化工でん粉がタピオカでん粉誘導体から製紙需要の一部を取戻すものと考え、前年度比17千トンの増の313千トンと見込んだ。
- ③ 26でん粉年度
26でん粉年度についても、昨今の需要動向が反映されるものと考え、25でん粉年度と同じ313千トンと見通した。

(3) その他の用途

- ① 24でん粉年度
ビール向け需要は、ビール系出荷が回復基調にあるものの、コーンスターチを使用しないプレミアム等であることから、ほぼ前年並みとなった。製紙向け需要は、化工でん粉用と同様に安価なタピオカでん粉誘導体への置き換わりが進んだこと等から、前年度比44千トンの減の525千トンとなった。
- ② 25でん粉年度
昨今の円安傾向や米国とうもろこしの生産見通し等から、コーンスターチがタピオカでん粉誘導体から製紙需要の一部を取戻し、ビール需要は横ばいで推移すると考え、前年度比27千トンの増の552千トンと見込んだ。
- ③ 26でん粉年度
26でん粉年度についても、昨今の需要動向が反映されるものと考え、25でん粉年度と同じ552千トンと見通した。

2 でん粉の供給量の見通し

(1) かんしょでん粉

24年産については、植付け以降の低温や長雨等による日照不足により単収が低かったことに加え、焼酎用への売渡しの増加により、原料集荷量は126千トに留まり、かんしょでん粉の生産量は、前年比7千ト減の38千トとなった。

25年産については、生育期に台風や干ばつによる大きな被害もなく、平年並みの作柄となった。前年のような焼酎用途との競合も緩和され、原料集荷量は前年比10千ト増の136千トとなった。その結果、かんしょでん粉の生産量は、でん粉歩留りを前年並みとして、前年比3千ト増の41千トと見込んだ。

26年産については、26でん粉年度の需要の見通しを踏まえ、60千トが計画的に生産されるものと見通した。

(2) ばれいしょでん粉

24年産については、降雪や降雨による植付けの遅れ、一部地域において、9月の高温によるいもの肥大抑制等があったものの、ばれいしょの単収はほぼ平年並みとなった。また、春先にも原料ばれいしょが供給され、春摺りが行われた。それらを合わせたばれいしょでん粉生産量は前年比15千ト増の189千トとなった。

25年産については、特にオホーツク地区で、春先の断続的な降雨の影響による植付けの大幅な遅れや7月の干ばつにより、生育が遅れた。全体的には平年並の生育となったものの原料集荷量は前年を下回り、ばれいしょでん粉の生産量は前年比5千ト減の184千トと見込んだ。

26年産については、26でん粉年度の需要の見通しを踏まえ、240千トが計画的に生産されるものと見通した。

(3) コーンスターチ

25年産（2013年産）については、我が国のコーンスターチ用とうもろこしの過半を供給する米国において、最大の作付水準で、順調な受粉と生育期間の伸長により単収が上昇し、史上最高の生産量（355百万ト）が見込まれており、必要量は安定的に供給されるものと見込んでいる。

なお、コーンスターチ用とうもろこしの供給量は、主要な需要先である糖化製品の需要が概ね堅調に推移していることや、25年産の国内産いもでん粉の生産量を勘案し、でん粉ベースで25でん粉年度は2,268千トと需要に見合った供給がなされるものと見込んだ。26でん粉年度についても、昨今の需要動向が反映されるものと考え、同水準と見通した。

(4) 輸入でん粉

（糖化製品、化工でん粉用）

24でん粉年度については、前年度から需要に大きな変動はなく、必要量が輸入され、前年度比1千ト減の132千トとなった。

25でん粉年度については、主産地のタイにおいて、原料キャッサバの生産量が増加すると予想されていることから、タピオカでん粉の輸入が増加するものと見込み、前年度比8千ト増の140千トと見込んだ。26でん粉年度については、149千トと見通した。

（その他用）

24でん粉年度については、用途に応じた必要量が輸入され、10千トとなった。25、26でん粉年度については、昨今の需要動向を踏まえて18千トと見込んだ。

(5) 小麦でん粉

小麦でん粉は、主に畜水産練製品向けとして供給されており、24でん粉年度は18千トとなった。25、26でん粉年度については、過去の実績から18千トと見込んだ。

＜参考＞

1 いもの生産状況

(1) ばれいしょの生産状況等（北海道）

年産	作付面積 千ha	単収 kg/10a	収 穫 量			歩留り %	でん粉 生産量 千トン	作付農家 戸数 千戸	一戸当たり 作付面積 ha	全算入生産費 円/10a	労働時間 時間/10a
			千トン	でん粉用 千トン	生食・加工食品用等 千トン						
17	55.7	3,860	2,150	1,058	1,092	21.8	231	17.1	3.26	70,773	8.08
18	55.7	3,630	2,022	945	1,077	21.9	207	16.6	3.40	71,322	7.90
19	56.9	3,940	2,242	1,118	1,124	21.3	238	15.9	3.58	71,393	7.90
20	55.2	3,860	2,131	1,031	1,100	22.0	227	15.4	3.58	77,030	7.75
21	54.4	3,480	1,893	863	1,030	22.7	196	14.9	3.65	81,902	8.10
22	54.1	3,240	1,753	745	1,008	21.9	163	15.0	3.60	79,285	7.92
23	53.1	3,470	1,843	787	1,056	22.0	174	14.4	3.70	80,725	8.07
24	53.4	3,630	1,938	867	1,054	21.6	189	13.9	3.84	83,824	8.26

- 注：1. 作付面積、単収及び収穫量は、農林水産省統計部「野菜生産出荷統計」による。
 2. 収穫量の内訳、でん粉歩留り、でん粉生産量は、農林水産省生産局農産部地域作物課調べ（収穫量の内訳は概算値）。
 3. 生食・加工食品用等とは、市場販売用、加工食品用、農家保有（食用、飼料用、種子用）、販売種子、その他及び減耗をいう。
 4. 作付農家戸数及び一戸当たり作付面積は北海道庁調べ（推計値）による。
 5. 生産費は、統計部「農業経営統計調査報告」による。
 6. 労働時間は直接労働時間である。

(2) かんしょの生産状況等（南九州）

年産	作付面積	単収	収 穫 量			歩留り	でん粉 生産量	作付農家 戸数	一戸当たり 作付面積	全算入生産費	労働時間
			でん粉用	生食・加工食品用等							
	千ha	kg/10a	千トン	千トン	千トン	%	千トン	千戸	ha	円/10a	時間/10a
17	15.9	3,060	487	170	317	30.9	52	24.7	0.64	122,618	57.72
18	16.6	2,850	472	168	304	31.5	53	23.0	0.72	123,293	56.50
19	17.0	2,610	443	145	298	31.2	45	21.1	0.81	133,942	61.43
20	17.3	2,830	491	151	340	30.2	46	20.6	0.84	139,250	60.17
21	17.5	2,910	509	166	343	31.1	52	19.4	0.90	139,548	59.97
22	17.3	2,450	425	147	278	30.4	45	18.1	0.96	137,258	57.99
23	17.0	2,480	422	149	273	30.0	45	17.4	0.98	137,309	59.01
24	17.0	2,340	399	126	273	30.0	38	16.8	1.01	135,412	58.29

注：1. 「南九州」の範囲は、鹿児島県及び宮崎県。

2. 作付面積、単収及び収穫量は、農林水産省統計部「作物統計」による。

3. 収穫量の内訳、でん粉歩留り、でん粉生産量は、農林水産省生産局農産部地域作物課調べ（収穫量の内訳は概算値）。

4. 生食・加工食品用等とは、市場販売用、加工食品用、農家保有（食用、飼料用、種子用）、アルコール用、その他及び減耗をいう。

5. 作付農家戸数は鹿児島県及び宮崎県の各県庁調べ（推計値）による。

6. 生産費は、統計部「農業経営統計調査報告」による。

7. 労働時間は直接労働時間である。

2 コーンスターチ用とうもろこしの国別輸入量の推移

(単位:トン、円/kg、%)

でん粉 年 度	コーンスターチ用 とうもろこし		国 別 内 訳											
			アメリカ		中 国		南アフリカ		ブラジル		アルゼンチン		その他	
	単価	シェア	シェア	シェア	シェア	シェア	シェア	シェア	シェア	シェア				
12	3,386,825	14.75	2,290,253	67.6%	236,564	7.0%	523,466	15.5%	188,932	5.6%	147,610	4.4%	—	—
13	3,171,610	15.63	2,246,797	70.8%	65,116	2.1%	259,430	8.2%	497,548	15.7%	102,719	3.2%	—	—
14	3,577,962	17.18	2,872,559	80.3%	451,831	12.6%	—	—	144,764	4.0%	108,808	3.0%	—	—
15	3,465,307	19.31	2,967,997	85.6%	332,070	9.6%	20,780	0.6%	117,656	3.4%	26,804	0.8%	—	—
16	3,547,086	17.99	3,370,024	95.0%	113,238	3.2%	43,514	1.2%	20,310	0.6%	—	—	—	—
17	3,583,320	18.19	3,354,375	93.6%	171,730	4.8%	57,215	1.6%	—	—	—	—	—	—
18	3,512,308	26.30	3,397,730	96.7%	105,578	2.9%	—	—	9,000	0.3%	—	—	—	—
19	3,436,720	35.30	3,411,353	99.3%	391	0.0%	—	—	24,976	0.7%	—	—	—	—
20	3,206,332	26.37	3,205,881	99.9%	—	—	—	—	—	—	—	—	451	0.0%
21	3,134,513	22.26	3,122,257	99.6%	—	—	—	—	—	—	12,256	0.4%	—	—
22	3,403,557	27.26	3,403,344	99.9%	—	—	—	—	—	—	—	—	213	0.0%
23	3,138,384	27.93	3,096,811	98.6%	—	—	—	—	31,267	1.0%	—	—	10,306	0.3%
24	3,125,735	35.09	2,705,501	86.6%	—	—	88,481	2.8%	205,388	6.6%	33,412	1.1%	92,953	3.0%

資料:財務省「貿易統計」

3 とうもろこしのシカゴ相場の推移

(セント/ブッシェル)

	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
1月	235.82	266.73	200.13	213.39	390.88	488.57	390.96	385.87	635.24	630.86	714.65
2月	236.29	282.96	200.34	222.96	411.22	516.08	361.88	362.78	690.45	640.39	707.01
3月	233.15	302.49	213.82	223.59	402.01	547.69	376.50	363.60	683.66	650.80	726.24
4月	238.52	315.56	207.88	236.82	361.55	593.36	387.23	354.02	753.10	633.95	648.50
5月	245.92	299.81	208.11	245.48	370.28	597.86	417.98	364.45	721.89	617.01	671.64
6月	239.44	286.21	221.84	238.13	380.98	698.89	412.45	346.78	720.74	603.19	662.26
7月	215.44	235.63	236.43	244.35	325.98	641.63	331.97	374.83	683.73	777.37	589.24
8月	220.42	224.34	215.16	229.78	330.88	549.32	327.14	408.61	713.40	803.54	483.17
9月	228.88	213.99	204.21	241.93	351.04	539.82	322.39	482.81	689.23	763.26	466.00
10月	225.55	204.98	202.06	303.26	357.86	412.63	372.01	545.55	632.12	750.12	439.16
11月	237.30	198.94	193.00	355.81	381.55	373.82	389.94	552.25	627.04	740.11	423.00
12月	247.27	200.38	201.82	369.61	423.79	362.38	395.50	585.58	602.01	717.95	426.36
平均	233.67	252.67	208.73	260.43	374.00	526.84	373.83	427.26	679.38	694.05	579.77

(注)1ブッシェルは、25.401kg。

資料:シカゴ商品取引所公表のとうもろこし先物相場の期近ものの月平均

4 外国産でん粉の輸入量等の推移

(単位:トン、円/kg)

でん粉 年 度	タピオカでん粉		ばれいしょでん粉		サゴでん粉		コーンスターチ		その他でん粉		合 計
	タイ、ベトナム、 インドネシア	単価	ドイツ、オランダ デンマーク	単価	マレーシア	単価	フランス、 アメリカ、韓国	単価		単価	
12	125,868	21.6	41,335	52.0	13,863	31.1	103	145.2	965	241.3	182,134
13	118,884	26.2	34,441	54.7	14,554	32.5	105	126.3	685	269.7	168,669
14	112,866	23.3	37,203	52.8	15,434	29.5	88	218.1	744	271.7	166,334
15	124,180	22.3	39,621	60.1	15,283	27.0	168	145.0	840	240.2	180,091
16	104,388	27.8	38,627	55.9	16,588	29.1	1,949	46.9	893	257.2	162,445
17	114,484	28.6	38,382	49.5	14,875	37.7	370	116.1	879	286.0	168,990
18	136,973	33.9	19,572	68.2	15,312	45.7	584	123.0	985	309.5	173,426
19	150,252	43.7	2,031	86.3	17,885	50.0	283	163.4	818	299.6	171,269
20	141,888	29.6	10,614	54.4	15,978	47.2	747	115.0	718	289.9	169,945
21	113,237	37.4	19,461	37.9	17,572	43.4	1,510	70.5	1,013	269.8	152,793
22	130,077	45.2	9,703	76.5	18,401	56.5	523	140.0	935	287.9	159,639
23	142,118	36.3	15,406	83.5	17,271	62.6	554	154.5	1,066	346.9	176,415
24	140,979	43.6	12,858	87.9	15,704	59.5	428	182.4	1,108	436.9	171,077

(注)その他でん粉には、葛でん粉、蓮根でん粉、緑豆でん粉、えん豆でん粉等がある。

資料:財務省「貿易統計」

5 化工でん粉の輸入量等の推移

(単位:トン、円/kg)

でん粉 年 度	でん粉誘導体						デキストリン等		つや出し剤・仕上げ剤		合 計	
	東南アジア	単価	欧州	単価	その他	単価	タイ、 アメリカ	単価	タイ	単価		単価
12	211,739	50.2	68,432	74.7	59,062	74.6	15,260	67.9	3,829	58.2	358,323	59.8
13	221,041	51.8	67,076	76.4	52,944	78.2	11,576	76.5	3,702	66.4	356,339	61.3
14	224,178	49.8	66,161	80.7	62,009	75.6	10,973	72.2	2,659	62.7	365,979	60.5
15	238,745	46.1	63,384	82.5	70,195	71.7	12,855	64.8	1,947	65.5	387,126	57.4
16	257,022	49.1	63,091	81.7	100,348	61.4	15,731	62.0	2,504	46.9	438,695	57.0
17	250,056	54.0	60,800	83.9	91,612	70.8	14,482	71.3	521	49.6	417,471	62.6
18	271,106	58.4	49,699	101.7	94,721	77.7	7,407	111.2	30	132.6	422,963	68.7
19	327,714	67.4	34,571	126.2	97,118	82.3	15,404	87.9	0	0.0	474,806	75.4
20	271,919	55.6	35,083	120.8	78,735	78.2	22,144	68.0	5	112.3	407,885	66.2
21	289,701	58.1	46,112	92.4	86,640	71.6	25,620	70.1	10	123.4	448,083	65.0
22	282,415	67.5	45,114	108.2	84,303	76.6	19,350	91.7	3	232.7	431,184	74.6
23	334,083	56.5	60,050	104.9	97,937	76.3	20,592	90.5	18	181.8	512,680	67.3
24	351,269	66.2	53,238	125.0	92,008	89.7	22,812	84.5	14	229.4	519,342	77.2

資料:財務省「貿易統計」

6 糖化製品の用途別販売数量

(1) 異性化糖の用途別販売数量

(単位：千トン、%)

でん粉年度 用途	18		19		20		21		22		23		24	
		比率		比率		比率		比率		比率		比率		比率
清涼飲料	559.6	48.2	565.5	47.4	531.3	46.7	549.9	47.4	557.4	47.5	563.5	47.7	596.5	49.6
乳性飲料	111.1	9.6	119.0	10.0	107.8	9.5	104.7	9.0	96.2	8.2	93.1	7.9	94.7	7.9
調味料	91.0	7.8	92.4	7.7	89.9	7.9	90.1	7.8	96.0	8.2	95.7	8.1	95.6	8.0
酒類	88.9	7.7	97.1	8.1	103.8	9.1	95.6	8.2	94.7	8.1	94.7	8.0	94.4	7.9
パン類	55.6	4.8	56.4	4.7	59.8	5.2	62.4	5.4	66.2	5.6	66.0	5.6	67.0	5.6
菓子類	30.3	2.6	27.2	2.3	25.0	2.2	26.5	2.3	28.5	2.4	26.7	2.3	26.9	2.2
冷菓	35.6	3.1	32.9	2.8	32.1	2.8	30.1	2.6	31.2	2.7	33.3	2.8	30.9	2.6
漬物	27.1	2.3	26.9	2.3	26.2	2.3	25.1	2.2	24.8	2.1	24.0	2.0	23.0	1.9
缶詰類	10.6	0.9	11.5	1.0	10.0	0.9	10.1	0.9	9.3	0.8	9.3	0.8	8.4	0.7
乳製品	8.3	0.7	8.8	0.7	8.9	0.8	9.2	0.8	9.4	0.8	7.9	0.7	7.4	0.6
医薬	6.8	0.6	7.0	0.6	8.7	0.8	8.7	0.7	7.0	0.6	5.7	0.5	5.1	0.4
その他	136.5	11.8	148.9	12.5	135.3	11.9	147.8	12.7	153.5	13.1	160.8	13.6	151.6	12.6
計	1,161.4	100.0	1,193.6	100.0	1,138.7	100.0	1,160.2	100.0	1,174.1	100.0	1,180.7	100.0	1,201.6	100.0
前年比	+15.4 (+1.3%)		+32.1 (+2.8%)		▲54.9 (▲4.6%)		+21.5 (+1.9%)		+13.9 (+1.2%)		+6.6 (+0.6%)		+20.9 (+1.8%)	

(注) 用途のその他には、ジャム、佃煮、練り製品、飼料などが含まれる。

資料：農林水産省生産局農産部地域作物課調べ

(2) ぶどう糖の用途別販売数量

(単位：千トン、%)

でん粉年度 用途	18		19		20		21		22		23		24	
		比率		比率		比率		比率		比率		比率		比率
医 薬	19.6	24.5	18.7	23.1	19.9	26.1	20.5	25.1	21.1	23.1	21.7	24.7	21.7	25.1
菓 子 類	9.5	12.0	8.8	10.9	8.0	10.5	8.6	10.5	9.7	10.7	8.9	10.1	7.8	9.0
調 味 料	6.1	7.6	5.9	7.3	5.1	6.7	5.7	6.9	6.5	7.1	6.2	7.1	5.9	6.8
粉 末 製 品	6.1	7.6	6.4	7.9	6.1	8.0	6.3	7.8	7.0	7.6	6.6	7.5	6.4	7.4
パ ン 類	5.3	6.7	5.9	7.3	5.6	7.4	6.6	8.1	7.9	8.7	7.9	9.0	7.8	9.0
清 涼 飲 料	3.9	4.9	4.2	5.2	3.4	4.5	3.2	3.9	3.3	3.6	2.6	3.0	2.7	3.1
酒 類	3.2	4.0	3.9	4.8	3.7	4.9	4.1	5.1	4.5	4.9	4.5	5.1	4.4	5.1
ガ ム	3.2	4.0	3.1	3.8	3.0	3.9	2.8	3.5	2.6	2.8	2.5	2.8	2.6	3.0
飼 料	3.2	4.0	3.1	3.8	3.0	4.0	3.4	4.1	4.4	4.8	3.8	4.3	3.3	3.8
缶 詰 類	1.7	2.1	1.7	2.0	1.5	2.0	1.7	2.1	1.7	1.8	1.7	2.0	1.8	2.1
そ の 他	18.1	22.7	19.2	23.8	16.7	21.9	18.8	23.0	22.7	24.9	21.3	24.3	21.8	25.3
計	79.9	100.0	80.8	100.0	76.1	100.0	81.7	100.0	91.2	100.0	87.6	100.0	86.3	100.0
前 年 比	▲0.5 (▲0.6%)		+1.0 (+1.2%)		▲4.7 (▲5.9%)		+5.6 (+7.4%)		+9.5 (+11.6%)		▲3.6 (▲3.9%)		▲1.3 (▲1.5%)	

(注) 1. 結晶ぶどう糖及び全糖ぶどう糖の合計である

2. 用途のその他には、乳製品、冷菓、ジャム、佃煮、練り製品、ソルビットなどが含まれる。

資料：農林水産省生産局農産部地域作物課調べ

(3) 水あめの用途別販売数量

(単位：千トン，%)

でん粉年度 用途	18		19		20		21		22		23		24	
		比率		比率		比率		比率		比率		比率		比率
酒 類	223.5	31.1	209.9	29.6	205.3	29.7	197.5	29.3	190.7	28.3	171.8	26.1	159.0	24.8
菓 子 類	127.4	17.7	130.5	18.4	127.8	18.5	121.4	18.0	121.8	18.1	118.1	17.9	112.8	17.6
調 味 料	49.1	6.8	52.4	7.4	51.0	7.4	50.9	7.6	48.5	7.2	47.1	7.1	43.2	6.7
ソルビット	37.2	5.2	35.9	5.1	32.1	4.7	31.2	4.6	30.7	4.6	28.0	4.1	31.0	4.8
乳 製 品	38.3	5.3	35.4	5.0	31.4	4.5	31.5	4.7	31.0	4.6	39.6	6.0	43.1	6.7
ジ ャ ム	36.0	5.0	35.1	5.0	37.2	5.4	37.9	5.6	38.7	5.7	38.8	5.9	37.2	5.8
冷 菓	16.6	2.3	16.6	2.3	15.0	2.2	16.5	2.4	16.8	2.5	16.0	2.4	16.7	2.6
粉 末 製 品	17.2	2.4	22.6	3.2	26.1	3.8	24.1	3.6	23.8	3.5	20.7	3.1	18.7	2.9
医 薬	6.5	0.9	6.8	1.0	5.8	0.8	5.9	0.9	6.9	1.0	5.3	0.8	5.3	0.8
清 涼 飲 料	9.3	1.3	9.1	1.3	7.7	1.1	8.6	1.3	10.0	1.5	11.3	1.7	10.7	1.7
そ の 他	157.1	21.9	154.7	21.8	151.6	21.9	148.3	22.0	155.2	23.0	162.9	24.7	163.0	25.4
計	718.2	100.0	709.0	100.0	691.1	100.0	673.8	100.0	674.1	100.0	659.5	100.0	640.6	100.0
前 年 比	▲45.0 (▲5.9%)		▲9.2 (▲1.3%)		▲17.9 (▲2.5%)		▲17.3 (▲2.5%)		+0.3 (+0.0%)		▲14.6 (▲2.2%)		▲18.9 (▲2.9%)	

(注) 1. 粉あめを含む。

2. 用途のその他には、パン類、ガム、佃煮、漬け物、練り製品、飼料などが含まれる。

資料：農林水産省生産局農産部地域作物課調べ

7 国内産いもでん粉の用途別販売数量の推移

(単位:千トン)

		19SY	20SY	21SY	22SY	当初対象用途	拡大後対象用途	23SY	24SY
ばれいしょでん粉	制度対象	92	78	51	37	でん粉糖(糖化製品)	でん粉糖(糖化製品)	32	34
		32	27	24	22	化工でん粉	化工でん粉	29	27
		2	1	2	1	板紙(層間接着用)	板紙(層間接着用)	1	2
		0	—	—	—	食品用トレー・梱包材	食品用トレー・梱包材	0	0
		1	0	0	0	水産養殖用餌料	水産養殖用餌料	0	0
		8	9	8	8	めん類(即席めん類)	麺類(春雨を含む。)	12	12
		135	115	85	68	小計	菓子類	15	14
	制度対象外	14	15	15	13	水産練製品・食肉製品	水産練製品・食肉製品	9	9
		1	2	1	1	めん類	冷凍調理食品・調味料	2	2
		15	18	17	17	菓子類	小計	100	100
		5	9	6	7	春雨	片栗粉	38	40
		50	55	52	39	片栗粉	その他	30	29
		15	21	27	34	その他	小計	68	69
	100	120	118	111	小計	計	168	169	
235	235	203	179	計					
かんしょでん粉	制度対象	32	37	38	33	でん粉糖(糖化製品)	でん粉糖(糖化製品)	30	28
		1	0	1	2	化工でん粉	化工でん粉	2	2
		0	0	0	0	酒類、オブラート	酒類・オブラート	0	0
		10	6	6	13	めん類	麺類	3	2
						菓子類	菓子類	7	3
						水産練製品・調味料	水産練製品・調味料		
		3	1	2	3	水産養殖用餌料	水産養殖用餌料	1	1
43	42	47	51	建材、のり・接着剤	建材・のり・接着剤	1	0		
				計	上記以外の食品	—	0		
278	277	250	229	合計	計	45	36		
					合計	213	205		

(注1)SYは、でん粉年度のこと。

(注2)ラウンドにより合計と内訳が一致しない場合がある。

(注3)ばれいしょでん粉の制度対象外のうち「その他」は、ミックス粉やレトルト食品などの用途である。

資料:生産局農産部地域作物課調べ

8 でん粉価格調整制度における調整金収支の状況

				23でん粉年度	24でん粉年度	25でん粉年度(見込み)		
						見通し (年度当初)	見込み	差
収入	対象 数量	コーンスターチ用とうもろこし	千トン (でん粉ベース)	2,307	2,258	2,286	2,268	▲ 18
		輸入でん粉	千トン	133	132	149	140	▲ 9
		計	千トン	2,440	2,390	2,435	2,408	▲ 27
	調整金単価		円/トン	4,886	4,059	3,968	4,053	85
	調整金等収入		百万円	11,926	9,714	9,662	※ 9,787	125
支出	対象 数量	ばれいしよでん粉	千トン	87	98	97	106	9
		かんしよでん粉	千トン	39	39	41	41	0
	交付金等支出		百万円	11,853	10,569	10,508	10,949	441
収 支	単年度		百万円	74	▲ 855	▲ 846	▲ 1,162	▲ 316
	累計(①)		百万円	6,680	5,825	2,817	2,501	▲ 316
	未払金(見込み)(②)		百万円	2,296	2,162			
	実収支(①-②)		百万円	4,383	3,663	2,817	2,501	▲ 316

(注1) でん粉年度当初の見通しにおける調整金単価は、前でん粉年度の平均輸入価格(加重平均)により算定。

(注2) 24でん粉年度の未払金(見込み)は、食料安定供給特別会計に納付される24でん粉年度第4四半期納付金及び25でん粉年度に販売が繰り越されるでん粉に係る交付金である。

(注3) 四捨五入の関係で、計と内訳が一致しない場合がある。

※ 調整金収入は、今後のコーンスターチ用とうもろこし等の輸入量によっては、見込んだ水準とはならず、表記より下回ることも想定される。

資料：生産局農産部地域作物課試算